令和３年５月20日発行。昭和５１年１２月２２日第三種郵便物認可（毎月１８回 2.3.4.5.6.7 のつく日発行）KSK 通巻第 7419 号すみなす会後援会会報

KSK すみなす会後援会 会報

すみなす会後援会会報　第 35 号
編集 社会福祉法人すみなす会後援会
住所 横浜市金沢区釜利谷南 2-8-1
編集責任者　加藤　邦紘

すみなす会 事業開始２０周年！

2001 年５月 航・釜利谷地域ケアプラザ開所式

2011 年６月 10 周年記念フェスタ

2021 年４月 すみなす会本部

社会福祉法人すみなす会
理事長　村上　友利

地域の皆様や関係機関の方々を始め、多くの皆様の温かいご理解とご支援のお陰で、すみなす会は開設から二十周年を迎えることができました。皆様に厚く御礼を申し上げます。

昨年は、法人上げてのコロナ感染防止の取り組みを開始してすぐに、後援会から非接触型の体温計五十本を提供していただき、利用者・職員の感染防止に大きな助けとなりました。

これまでもタイムリーに幾多の力強いご支援・ご協力を賜り、役員の皆様並びに会員の皆様に心から感謝を申し上げます。

すみなす会は、平成十三年に「航」と「釜利谷地域ケアプラザ」の二施設で事業を開始し、それ以降も段階的に施設を増やしながら、すみなす会事業を拡大してきました。現在では二十二施設を擁し、障害と高齢の方を対象に、約四百名の職員が多様で質の高い福祉サービスを提供しています。

今般の二十周年を契機に、すみなす会二十年の歩みを振り返るとともに、すみなす会が今後も地域社会から必要とされ、地域社会に役立つ存在でありたいというメッセージを込めた「すみなす会二十周年記念誌」を作成します。

いつの時代も、利用される皆様の思いに寄り添い、SDGs「誰一人取り残されない社会」の実現を目指して、すみなす会は持続的な発展をしていきたいと考えています。

すみなす会後援会
会長　加藤　邦紘

すみなす会発足二十周年おめでとうございます。理事長以下、全職員の皆様のご努力に心から敬意を表します。また、日ごろから後援会を支え応援していただいている会員の皆様に心からの感謝を申し上げ、二十年の軌跡を振り返ってみたいと思います。

後援会の発足は、すみなす会と同時で、事務局の石井さんと二人きりのなんとも心細い船出でした。二十年後の現在の姿は会員 百十四名 役員六名 事務局二名、役員会 年三回開催、後援会報 年二回発行、寄付金 約百三万円（令和二年度）という姿に成長致しました。ひとえに会員の皆様のご支援のおかげです。二十年間の足跡としては 会報は三十五号を発行、すみなす会への支援金は累計約九四七万円、積立金 約九六八万円（令和三年三月末）の活動実績を残しております。

特に会報の発行は一見地味ではありますが、すみなす会の歴史を記録する上で極めて重要な資料であり、第一号から現在まで、事務局の努力により着実に進化し、皆様への情報提供の貴重な一助となっています。

また支援金は、すみなす会の活動のバックアップとなり、直近ではコロナ発生直後に非接触型体温計五十本の寄付が記憶に残ります。この他、さをり織りの販売支援等の手伝いもさせてもらっています。

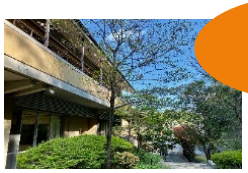
何とか二十年、会員の皆様の継続的な支援、役員・事務局の努力、すみなす会からの期待等に支えられてここまで参りました。今後はこれまでの活動に加えてすみなす会の五～十年先を考えたプロジェクト等も検討して参りたいと考えています。これまでに増して強い御支援を何卒よろしく御願い申し上げます。

社会福祉法人すみなす会
横浜市金沢区釜利谷南 2-8-1
電 話　045-788-2901
すみなす会ホームページ

すみなす会後援会
後援会事務局
電話 045－788-2901
後援会ホームページ

令和３年５月20日発行。昭和５１年１２月２２日第三種郵便物認可（毎月１８回2.3.4.5.6.7のつく日発行）KSK通巻第7419号すみなす会後援会会報

障害者支援施設　航



事業開始
20周年

コロナ対策

航では、職員全員に手指消毒用のスプレーを配布しています。常に携帯し、気になった時はシュッ！と手指消毒をし、新型コロナウィルス感染予防に努めています。

２月から３月にかけ、職員を対象としたPCR検査を３回実施しました。延べ306名の職員が受検、全員陰性でした！

共用部分の消毒、換気、加湿を心掛け、これからも感染予防対策をしてまいります！

４月現在、利用者・職員の感染予防に努めながら活動しています。

すみなす会・航20周年おめでとう！

すみなす会・航開設の20周年を祝して、航の皆さんからお祝い写真が集まりました！

コラムvol.7　～20周年を迎えた航の今～

住み成す

航施設長　佐々木　画生

昨年度は、新型コロナウィルス感染症の感染防止対応におわれる年となりました。航をご利用されている皆様には、ご帰宅や外出の自粛等々、事業所運営に多くのご協力をいただき、誠に感謝しております。

お陰様で、ご利用者、職員共に、現在まで一人も感染者は出ておりません。

しかし、近頃は変異株の蔓延も報道され、今後、必ずしも航が安泰とは言いきれない状況となっています。

これまでも航では感染者が発生したことを想定して、その中で事業を継続運営するための実施計画を作成すると共に、法人全体での新型コロナ対策協議を重ねてまいりました。

対策協議を進める中、すみなす会の障害福祉部門では、この機に感染症だけでなく、震災等の有事の際に、法人内の障害福祉事業所が連携して、事業継続を行っていくための事業継続計画（ＢＣＰ）を作成しました。

この事業継続計画（ＢＣＰ）では、法人内の障害福祉事業の中で、優先する事業を「施設入所」と「グループホーム」に位置づけ、対象事業の継続のために事業所の枠を超え全職員が一丸となって支援を行う体制強化を図ることを再確認し、備蓄品の補充・再整備等を行いました。

また、障害福祉部門合同での防災訓練も企画し、福祉避難所としての地域貢献のあり方についても協議を進めております。

現在も、新型コロナウィルスという、これまで予測していなかった状況が続いていますが、どんな有事の際にも、ご利用者の安心と安全を第一に事業を継続していきたいと考えております。今後ともご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

令和３年５月20日発行。昭和５１年１２月２２日第三種郵便物認可（毎月１８回2.3.4.5.6.7のつく日発行）KSK通巻第7419号すみなす会後援会会報

地域支援センター

グループホーム コロナ対策しながら楽しく♪

食卓にパネルを置いて。お茶を楽しまれています。

グループホームでは皆さんコロナ対策を取りながら元気に過ごされています。

各グループホームで、毎日検温、手指消毒、手洗い・うがい、換気等予防対策をしっかりと行っています！

玄関先に非接触型の体温計と消毒液、またリビング内には空気清浄機を設置して室内の換気も行っています。

毎日検温表に
記録しています。

空気清浄機
空気を綺麗に！

うがいも♪

玄関に新アイテム登場！
体温を計測中

消毒液つきです

ZOOM会議の様子 ～インターネットの活用～

地域支援センターでは、点在するグループホームのインターネット環境を整えて、職員会議をオンラインで開催しています。会議会場までの移動がなく、すぐに繋がり情報を共有できると職員からも好評です。下の写真はZOOMで職員会議を開催している様子です。この日はもしもの時に備え、参加者全員で防護服等の着脱方法を確認しました。職員一同、今一度、心を引き締め新型コロナウイルス感染予防に努めていきます。

会議の進行は地域支援センター

全グループホームから
参加しています。

防護服を実際に着て確認。
緊張感が漂っています。

後見的支援室 帆海の会議もZOOMで実施しています。

地域支援センターの入口にも消毒液付きの非接触型体温計

令和３年５月20日発行。昭和５１年１２月２２日第三種郵便物認可（毎月１８回2.3.4.5.6.7のつく日発行）KSK通巻第7419号すみなす会後援会会報

金沢地域活動ホーム りんごの森

日中活動 with コロナ ～リモートで繋がる！～

【書初め】
思い思いの言葉をしたためました。歌いながら「大きな栗の木の下で」と書きました！

リモート放映で Live！皆でお祝い！

【成人を祝う会】
３名の新成人の皆さん。未来を切りひらく、という意味合いを込め、テープカットの瞬間！リモート放映も行い、りんごの森のみんなで３名のお祝いをしました。

離れた事業所と繋がって！

【新春 みんなで叩こうぜ！】
ディスタンスを保って太鼓体験！ipad 端末を活用しリモートでラ・ヴァリエッタにも中継しました。

鬼も退散！

【節分】
他の部屋の様子をリモート中継で見ていたら、ついに自分の部屋に鬼たちがやって来ました！

la varietta（ラ・ヴァリエッタ）開設１周年を迎えました

多機能型事業所 la varietta（富岡東）は、２月で開所１年を迎えました。
新型コロナウイルスの流行と共に歩んできた１年でしたが、チョコレート作りの活動を通じて、利用者の皆さんそれぞれの楽しみや、やりがいを見出してきました。
また la varietta１階店舗 久遠チョコレート横浜金沢店では初めてのバレンタインデーシーズンを迎え、たくさんのお客様にご来店いただきました。製造等多忙となりましたが、利用者の皆さん一所懸命に作業に取り組み、多くの製品を販売することができました。
４月25日にはオープン１周年を迎えました。
これからもどうぞよろしくお願い致します。

人気はフィナンシェにチョコレートをかけた『クオンシェ』→

ご利用者さまの『声』

Q：りんごの森に通い始めたのはいつですか？
A：昨年（２０２０年）の４月です。
Q：りんごの森で楽しかったことは何ですか？
A：私のお誕生日をみんなで祝ってくださったり、私もみなさんのお誕生日を祝ったりすることです。体操とかボウリングなど、全て楽しいので何よりです。
Q：今後の抱負をひとこと！
A：今年の５月で大人（２０歳）になります。ですので、お給料を今まで以上にたくさん稼ぎたいです。
家族、りんごの森の方、同級生、先輩、後輩等に私の人生に寄り添ってもらい、素敵な大人になりたいです。

石井 若菜さん

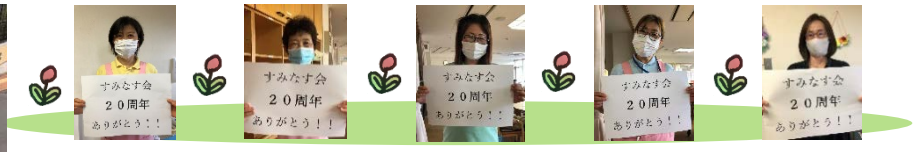
令和３年５月20日発行。昭和５１年１２月２２日第三種郵便物認可（毎月１８回2.3.4.5.6.7のつく日発行）KSK通巻第7419号すみなす会後援会会報

釜利谷地域ケアプラザ

事業開始
20周年

事業開始２０周年！！

２０年をお祝いして（職員）



２００１年５月に金沢区で５館目のケアプラザとして事業を開始してから２０年が経ちました。当初９名だった職員も現在59名になり、５事業（地域活動・交流、地域包括支援センター、生活支援体制整備、居宅介護支援、通所介護）を運営しています。これからも釜利谷の皆様と一緒に住みよい街づくりに努めていきます。

SNSはじめました♪

LINE

2020年度は、新型コロナウィルス関連情報発信のため、官民問わずICT*1の活用が拡充した年でした。

これまで地域の自治会・町内会で開催していたお食事会やサロン、趣味の会や体操の集まり等が感染予防のため自粛となり、これまで繋がっていた地域の繋がりが薄くなってしまいました。その様な中、釜利谷地域ケアプラザでは、SNS*2（Facebook、Instagram、LINE公式サイト）を活用した情報発信を開始しました。ケアプラザ主催の事業の情報や、デイサービスご利用者様の作品、コロナ禍感染予防しながら釜利谷地域で開催された活動のご紹介、地域で咲く季節の花など、様々な情報を発信してきました。また、SNSを使わない方のため、発信された内容を生活支援体制整備事業情報紙「つながろう！」でも発信しております。

今後ICTは、生活の様々な分野で活用され情報発信されていくことでしょう。一方で、ICTが使える方と苦手な方の間で情報格差が広がる懸念があります。釜利谷地域ケアプラザでは、昨年秋から地域の方と一緒にオンライン会議（ZOOM）の使い方を学びながら、地域の活動や見守りにどの様に活かしていけるか検討する会「釜利谷にじProject」を毎月開催しています。今後はProjectのメンバーを増やしながらICTを使える人を増やし、新しい形の繋がりや見守りを模索していきたいと考えています。

SNSの登録は釜利谷地域ケアプラザのホームページからも登録が可能となっております。

*1 ICT：Information and Communication Technology　（情報通信技術）
*2 SNS：Social networking service　（交友関係を構築するWebサービスのひとつ）

楽しい情報を
発信しています。
ご覧ください！

Instagram

Facebook

着任のご挨拶

所長　佐藤　一美

平成二十九年四月から四年間、柳町地域ケアプラザ所長としての業務を遂行し、令和三年四月から釜利谷地域ケアプラザの所長として着任しました佐藤一美です。

法人理念である「誰もが明るく豊かに！」がより実現するよう拠点施設として、釜利谷の地域について改めて知っていき、釜利谷地域ケアプラザ全職員と共に歩んでまいります。まだまだ勉強不足で様々なことを『知る』ことも課題の一つではありますが、誰もが気軽に立ち寄れるケアプラザになるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

令和３年５月20日発行。昭和５１年１２月２２日第三種郵便物認可（毎月１８回2.3.4.5.6.7のつく日発行）KSK通巻第7419号すみなす会後援会会報

柳町地域ケアプラザ
～デイサービス活動の様子～

珈琲の会

地域の珈琲店から仕入れた珈琲豆で豆引きからドリップまで体験いただき薫り良い美味しい珈琲を楽しんでいます。

書道サークル

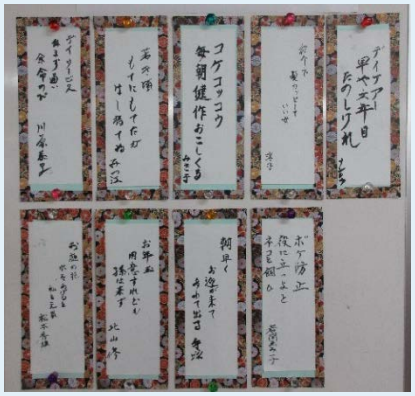
数名から始まった書道サークルも今では 15 名以上の大きなサークルとなりました。『次は何を書くの～♪』と楽しみにされています。

施設駐車場で体操と日光浴

近隣公園への歩行訓練や体操

歩行訓練は施設外周から始めて徐々に距離を伸ばして歩行できるようになり、『次はその先の川まで行こう♪』と目標をもって実施しています。

川柳サークル



ユニークな作品が出来上がっています。コンクール申し込みを目標に取り組まれています。

絵手紙教室

ボランティアの先生の見本を見ながらその季節の花や果物等、好きなものを描かれています。

所長　着任のご挨拶

柳町地域ケアプラザ
所長　黒田　彩

令和三年四月より、佐藤一美前所長に代わり、横浜市柳町地域ケアプラザ所長に就任いたしました、黒田彩です。前年度までは共同生活援助事業や指定特定相談支援事業、金沢地域活動ホームりんごの森（金沢区基幹相談支援センター）など、主に障害福祉分野に従事しておりました。

これまで、人と人とのつながりを大切に福祉サービスの提供や地域づくりを目指してきましたが、今日私たちはいままで経験したことのない感染症対策のため、集うことやふれあうといった日常を大きく変えなければならなくなりました。

少子高齢化や人口減少における福祉的課題への対応のみならず、感染予防対策を講じながらも【人と人とのつながり方】をあらためて模索していくために、地域の皆様とともに支えあいながら地域づくりに取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和３年５月20日発行。昭和５１年１２月２２日第三種郵便物認可（毎月１８回2.3.4.5.6.7のつく日発行）KSK通巻第7419号すみなす会後援会会報

後援会からのお知らせ

令和２年度すみなす会後援会 会員・寄附金納入者名簿（敬称略）R2.4.1～R3.3.31

阿部　雅美	有馬　サカエ	飯島　要	池永　直之	石井　若菜	石川　正博
井上　征	入江　昭明	江口　昭	岡島　濱	岡田　菜々恵	岡林　謙
乙川　里美	木下　勝裕	木下　研作	桑原　浩人	小宮　照雄	小山　昇一
境　律子	佐々木　覚一	小味山　忠志	上甲　雅敬	鈴木　和彦	諏訪　桃子
瀬戸　操	高野　紀子	高橋　君代	谷口　一郎	玉置　陽岳	戸上　崇
徳江　健介	徳江　ゆか里	中村　有良	中村　豊久	野月　光行	長谷　雅彦
長谷川　舜	服部　英明	原田　孝規	平山　夏子	深井　庸三	前田　健造
牧野　小夜子	万木　文太	御手洗　房江	三船　美枝子	宮田　麻由子	向井　恵美
森田　博美	安室　ヨネ子	山﨑　洋子	山田　懐枝	横尾　敏治	葭葉　守
領家　奈津美	渡辺　久雄	㈱アルテ	いしずえ会	㈱まるかね電機商会	
加藤　邦紘	黒田　幸明				他53名全114名

令和２年度も後援会活動にご協力いただき、ありがとうございました。上記のお名前は、振込用紙の備考欄にて掲載の承諾をしてくださった方のみ載せております。承諾が確認できない場合は、お名前の掲載を控えさせていただいております。ご了承ください。

令和２年度 すみなす会後援会 収支報告

収　入		支　出	
令和元年度からの繰り越し	9,127,053	印刷製本費（後援会報印刷）	60,447
受取利息収入	77	手数料（振替受払照会・振込手数料）	24,461
令和２年度会費・寄付金収入	1,032,000	事務消耗品費	11,195
		寄附金支出（非接触型体温計）	354,931
		通信運搬費（切手・ハガキ等）	17,250
		会議費	6,434
		諸会費（神奈川県障害者定期刊行物協会）	3,000
令和２年度　収入計	10,159,130	令和２年度　支出計	477,718

差引残高　9,681,412円（R3年度へ繰越）

◎令和２年度の会計を上記のとおり報告いたします。
（令和３年５月１１日後援会監査を受けました。）

令和３年５月20日発行。昭和５１年１２月２２日第三種郵便物認可（毎月１８回2.3.4.5.6.7のつく日発行）KSK通巻第7419号すみなす会後援会会報

社会福祉法人すみなす会

「すみなす＝住み成す」　地域の誰もが明るく豊かに！
子供も、大人も、お年寄りも、障がいのある人も

未 来

★障がい福祉の部門

★高齢福祉・地域交流の部門

2021年
現 在

地域支援センター

柳町地域ケアプラザ

金沢地域活動ホーム
りんごの森
「ラ ヴァリエッタ」

障害者支援施設
航（わたる）
「手織り工房 コパン」

釜利谷地域ケアプラザ
「やまゆり」

1999年
すみなす会
誕生

1989年
芽生え

すみなす会ホームページ

★障がい福祉の部門：航・りんごの森・地域支援ｾﾝﾀｰ
★高齢福祉・地域交流の部門：釜利谷地域ｹｱﾌﾟﾗｻﾞ・柳町地域ｹｱﾌﾟﾗｻﾞ

すみなす会後援会

- すみなす会の新事業等の取組みや、事業運営の充実を主に財政面から支えます。
- すみなす会への物品の寄付、功労者の表彰、法人運営への提言を行います。
- 会報を年２回発行し、すみなす会の福祉事業の周知に努めています。
- 具体的な活動と決算は会報で報告しています。

後援会ホームページ

編集　社会福祉法人すみなす会後援会
住所　〒二三六-〇〇四五　横浜市金沢区釜利谷南二-八-一
電話　〇四五-七八八-二九〇一
編集責任者　加藤邦紘
発行　神奈川県障害者定期刊行物協会
横浜市港北区鳥山町一七五二番地
障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール三階横浜車椅子の会内
頒価　五〇円

後援会会費はこちらまで

個人会員　１口　3,000円
法人会員　１口　10,000円
寄附金　随　意（上記の金額以外）
下記の口座に直接お振込みください。
ゆうちょ銀行　00230-5-18765
社会福祉法人すみなす会後援会

後援会会員を募集しています。

すみなす会後援会は、会費・寄附金を資金とし、すみなす会を支援する活動をしています。入退会は自由で、会費の納入と同時にその年度の会員となっていただきます。

ご意見は下記までお寄せください。役員会への参加も歓迎しています。活動の様子や収支状況、その年の会員名簿は会報で報告しています。

【問合せ】045-788-2901
後援会事務局
s-ko-en@suminasu.or.jp